

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

# 市民センター構想の

# 課題と展望について



菊池 巳喜男 議員  
(清風会)

**問** 遠野市民センター学びのプラットホーム特区構想案は、どんな背景や理由があるのか。また、中学校再編に絡んでの事か。

**答** 国の構造改革特別区域法の一部改正により学校施設の管理と整備に関する権限を地方公共団体の長へ移譲する特区が創設された。市民協働により、話し合いながら、子供達の利便性や住民サービスの向上に繋げ、地域を活かす特区として進めていく。中学校再編とは関係ない。

**問** 宮守町一本での地区センター運営は、宮守町地域一帯をカバーするのは大きすぎる。鱒沢・達曽部地区にも地区センターを設置し、より高度な自治体づくりを推進する必要があるのでは。

**答** 遠野スタイルでの地域づくりを推進するため、地域活動への支援・連携・協力や、指導者養成等の「人づくり」にも努め、引き続き地区センターの有り様について検討する。

**問** 農業の第6次産業化の取り組みは。

**答** 農業の付加価値として加工販売が重要であり、農・商・工連携で協力して取り組む。

**問** 産直施設の現状と拡充対策を見る時、ビニールハウスで開設している「産直かみごう」の今後の展開は。

**答** 平成19年に営業開始、売上も伸ばしている。地元構想と販売見込みや加工について、収支を含めて様々な方向から検証し検討している。

**問** 釜石道工事が進む中、平成24年までに宮守IC(鱒沢地内)が開通と聞く。市長は「高速道にサービスエリアは造らない、市内の産直等に誘導したい」と発言している。「産直ともちゃん」への誘客は結構であるが、現状の施設ではトイレの規模が小さく営業時間外

は使用できない。宮守IC開通時までに、この対策を講じられないか。

**答** 鱒沢インター完成までに検討する。

**問** 耕作放棄地対策での現状と課題について

**答** 綾織地区で対策事業が決定している中で、農業委員の果たす役割は大きい。今後とも現地調査を経て対策に万全を期したい。



どうなる 産直かみごう